

共用品推進機構だより 2017年01月13日 (39)

目次

(176) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(177) 製品関連記事

▽「初心者も扱いやすい除雪機／モービルジャパン」

▽「手動かさず スマホ操作／ソニーモバイルコミュニケーションズ」

▽「テレビの音声聞きやすく／ソニー」

(178) 行政関連記事

▽「気付にくい障害に配慮を ヘルプマーク」

(179) 新刊紹介

▽『障がい者スポーツ大百科 大きな写真でよくわかる 1

障がい者スポーツって、なに？』

▽『雨にうたれてみたくて 愛しの人工呼吸器をパートナーに自立生活』

-----  
(176) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

・ ホーチミンで製品安全に関する調査実施/Ho Chi Minh City in Viet Nam

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>

-----

## (177) 製品関連記事

### ▼「初心者も扱いやすい除雪機／モービルジャパン」

女性や高齢者も扱いやすい充電式除雪機「電動くまごろう」。

かき込んだ雪を飛ばす投雪タイプではなく、ブレード式またはドーザー式とも呼ばれる、ブレードで雪を押し出すタイプの除雪機。周囲に雪を飛ばさないで狭い住宅地や玄関先、駐車場などの除雪に適する。初心者でも操作しやすい設計で、投雪タイプのように高速回転する刃もないので安全。電動式なので運転音も小さい。

氷点下でも充電できるシリコンバッテリーの採用により、従来のようにバッテリーを室内に持ち込まなくても倉庫など保管場所でも充電できて便利。

速度は無段階で前進、後進できる。前進速度は最高時速5キロメートル。ヘッドライト付き。2時間で車両約30台分の駐車場の除雪が可能だという。

(日経MJ 1月11日13面より抜粋)

### ▼「手動かさず スマホ操作／ソニーモバイルコミュニケーションズ」

イヤホン型端末「エクスペリアイヤー」。ソニーモバイルコミュニケーションズが開発したイヤホン型端末。片方の耳に装着し、音声や頭の動きでスマートフォン（スマホ）を操作できる。カバンやポケットに入れたスマホを取り出さなくても通話やメッセージ送受信などが可能になる。対象は米グーグルの基本ソフト「アンドロイド」を搭載したスマホ。専用アプリを導入し、近距離無線通信「Bluetooth」で接続する。

本機を耳に装着すると内蔵センサーが感知し、天気予報やスケジュール、不在着信の有無、最新ニュースなどを音声で知らせてくれる。スマホに届いたSMS（ショートメッセージサービス）やLINE、フェイスブックなどのメッセージも読み上げてくれ、ユーザーは音声で返信できる。

(日経産業新聞 1月11日15面より抜粋)

### ▼「テレビの音声聞きやすく／ソニー」

ソニーのリモコンと一体になったテレビ用のワイヤレススピーカー「お手元テレビスピーカー SRS-LSR100」が人気を集めている。テレビの音声を小型スピーカーに無線で伝送し、テレビから離れた場所においても自分が聞き取りやすい音量で楽しめる。ソニーの音響技術で音声だけを判別する機能など

も付けた。

「おまかせ音量」は周囲の騒音をマイクが拾ってソニー独自のアルゴリズムで解析。自動で聞きやすい音量に調整してくれる。また低遅延の無線技術を採用しているため、テレビ本体から音声を流していても音ズレが少なく違和感がないのも特長だ。

リモコン一体型なのも便利だ。ボタンや文字を大きくして、お年寄りにも見やすくした。

(日経MJ 1月13日9面より抜粋)

---

## (178) 行政関連記事

### ▼「気づきにくい障害に配慮を ヘルプマーク」

外見からは障害があると分かりにくい人が周囲に支援を求めやすいよう東京都が作った「ヘルプマーク」が、2020年東京五輪・パラリンピックに向けた国の案内用図記号の見直し議論の対象に入った。日本工業規格(JIS)の図記号に加えるかどうかを経済産業省の有識者委員会が検討中で、7月ごろ正式決定する。追加されれば、国内統一マークとして全国的な普及が期待される。

ヘルプマークは、義足や人工関節、内臓の機能障害(内部障害)、難病の人らが必要な援助や配慮を得やすくなるよう12年10月に都が作った。軟らかい樹脂製で、ベルトでかばんなどに付け、裏にシールを貼って自分の障害や助けてほしいことを書き込める。都営の地下鉄やバスの営業所などで無料で配っている。

(東京新聞 1月12日1面より抜粋)

---

## (179) 新刊紹介

### ▼『障がい者スポーツ大百科 大きな写真でよくわかる 1

障がい者スポーツって、なに?』

大きな写真資料を多数収載して、障がい者スポーツについてさまざまな角度

から紹介したシリーズ。1は、障がい者スポーツのはじまり、日本の障がい者スポーツ組織の結成、これからの課題などを取り上げる。

監修：大熊廣明（おおくま・ひろあき）

編：こどもくらぶ

発行：六耀社

本体価格：2800円（税別）

ISBN：978-4-89737-883-1

▼『雨にうたれてみたくて 愛しの人工呼吸器をパートナーに自立生活』

「病院を出たら3日で死ぬ」といわれながら、他人介助により自立生活を始めて26年。人工呼吸器を使用しながら地域生活を切り拓いてきた著者が、自分の人生を生きる喜びを綴った半生記。新聞、雑誌等掲載に加筆し書籍化。

著：佐藤きみよ（さとう・きみよ）

発行：現代書館

本体価格：1800円（税別）

ISBN：978-4-7684-3551-9

---

（編集後記）

先週のメールマガジンでもお知らせをさせて頂いたのですが、2月20日（月）に「ADシンポジウム2017」を開催します。

今年度は「使いやすいモノ・サービス・情報にするために～AD研究分野と産業分野の連携について～」と題して、経済産業省、国立研究開発法人産業技術総合研究所、株式会社オリエンタルランドの方々にご講演を頂きます。

是非ご参加頂ければ幸いです。（森川美和）

ADシンポジウムご案内 <http://www.ad-council.org/symposium.html>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>